

松下幸之助 生誕120年記念特別展

松下幸之助の目指したもの

A Better Life, A Better World

パナソニックグループでは、昨年9月に新しいブランドスローガン「A Better Life, A Better World」を制定し、これを旗印に、家電のDNAを継承しつつ、住宅、社会、ビジネス、旅、自動車など多様な空間・領域で、「お客様のいい暮らし」を拡げることに取り組んでいます。

この取り組みを成功に導くには、社員一人ひとりが、それぞれのお客様にとって、何が「A Better Life」で、何が「A Better World」なのかを徹底的に追求し、具現化していかなければなりません。

創業者・松下幸之助は、1932年に産業人の「真の使命」を自覚して以来、人々のより豊かで幸せな生活の実現を求めて事業活動を進め、さらに企業人の枠を超えて、社会の繁栄のために力を尽くし続けました。

幸之助は、94年の生涯を通じ、大きく三つの活動に情熱を傾けてきました。松下電器器具製作所（現在のパナソニック）の創業に始まる「事業活動」、PHP研究所を通じた「理念の研究と普及・実践」、そして松下政経塾による「日本のリーダーの育成」です。これら三つは各々独立しており、資本の関係もありません。しかし、幸之助の『志』に基づく使命は同じであり、それぞれがそれぞれの役割を通じて、繁栄による平和と幸福の実現を目指しているのです。

松下幸之助生誕120年に当たる本年の特別展では、こうした「A Better Life, A Better World」の原点というべき幸之助の『志』を、幸之助自身の言葉や歴史上のエピソードで紹介しています。

皆様方が、それぞれの立場で、「A Better Life, A Better World」を実現し、お客様価値の創造につなげていく一助になれば幸いです。

松下幸之助 歴史館